

令和3年度 第1回 介護医療連携推進会議（定期巡回随時対応型訪問介護看護事業）

● 事業所情報

法人名	社会福祉法人 洛西福祉会
事業所	ホームケア24くっつけ七彩の家（定期巡回随時対応型訪問介護看護）

● 開催日時・場所

日時	令和3年8月20日（金）14:00～15:00
場所	社会福祉法人 洛西福祉会 七彩すまいる館 1階

● 出席委員（順不同・敬称略）

NO	氏名	所属（役職）	
1	酒井 雅弘	利用者ご家族	—
2	浅田 泰子	地域住民の代表者	桂坂民生児童委員協議会 副会長
3	堤 風馬	地域の医療関係者	連携先訪問看護事業所 ぐりっど 洛西訪問看護ステーション管理者
4	小泉こずえ	地域の医療関係者	京都市西京在宅医療・介護連携支援 センター（一般社団法人西京医師 会）コーディネーター
5	浦川 良太郎	知見を有する者	社会福祉法人京都福祉サービス協 会 サービスセンター桂坂管理者
6	田川 賢治	地域包括支援センター	京都市沓掛地域包括支援センター 社会福祉士
事務局	栗津 勇一	併設施設 施設長	地域密着型介護老人福祉施設くっ かけ七彩の家 施設長
事務局	平田 昌瑛	当該事業所 管理者	ホームケア24くっつけ七彩の家 管理者

● 議事

NO	議事内容
1	本会議について 委員紹介
2	事業所の状況、利用者の状況、サービス提供の状況について
3	サービスへの要望、助言
4	サービスの評価について
5	その他

● 議事内容

議事 1	本会議について 委員紹介																		
	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局より、会議の目的を説明 ・各委員 自己紹介 																		
議事 2	事業所の状況、利用者の状況、サービス提供の状況について																		
	<p>令和3年3月より『定期巡回・随時対応型訪問介護看護（連携型）事業』開始 令和3年8月より『夜間対応型訪問介護事業』開始</p> <p>【利用件数】</p> <table border="1" data-bbox="391 577 1129 875"> <thead> <tr> <th>年月</th> <th>新規</th> <th>終了</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3.3</td> <td>23</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>R3.4</td> <td>4</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>R3.5</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>R3.6</td> <td>6</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>R3.7</td> <td>5</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>【事故・苦情件数と内容】 事故3件、苦情1件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者宅にてコーヒーマーカーを割ってしまった。 →謝罪を行い、事業所において対応を行う。 ・訪問時、擦過傷発見。絆創膏を貼る対応を行った。その後、本人が往診受診され、縫うほど傷であった。 →往診医師、訪問看護等医療機関との連携ができていなかった為、研修にて周知。また傷の要因として介護も一要因と考えられる為、安全な介護となるよう周知徹底を行う。 ・職員のバイク移動中の転倒事故 4月に1件発生 →研修を実施して、交通安全の注意喚起を行う。 ・利用料請求先設定について、1件苦情あり。 →謝罪を行い、ご本人、ご家族と話しをして対応する。 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都市西京区、右京区にてサービス提供を行っている。 ・定期巡回サービスの普及、周知活動の成果もあり地域のケアマネージャーからご理解を頂けるようになってきている。 ・新型コロナウイルスの予防対策として「併設事業所との動線分離」「サービス提供時のマスク、ゴーグルの着用徹底」「出勤時の検温による体調確認」等の対策を行っている。 ・今月までの職員、ご利用者の新型コロナウイルスの陽性者なし。 	年月	新規	終了	R3.3	23	5	R3.4	4	3	R3.5	4	4	R3.6	6	0	R3.7	5	2
年月	新規	終了																	
R3.3	23	5																	
R3.4	4	3																	
R3.5	4	4																	
R3.6	6	0																	
R3.7	5	2																	
議事 3	サービスへの要望、助言、意見																		
小泉委員 より	<p>事業所内での職員にコロナ陽性者が発生した場合や、利用者がコロナの疑いや陽性になった場合の対応はどのように想定されていますか？地域には、サービスがないと日常生活が成り立たない要介護高齢者も多くおられると思います。また、医療分野（医師・</p>																		

	<p>看護師)であれば、ゾーニングや防護服等の着脱方法など徹底されていると思います が、介護分野では中々難しく苦勞されていると思います。</p>
事業所より	<p>事業所内で職員にコロナ陽性者が発生した場合には、保健所の指示及び京都市の初動 対応に従い対応していく想定をしています。その際には、ご利用者及びご家族、担当ケア マネジャー、連携先の事業所等と連携を密にして、安全にご利用者の生活を支えていけ るよう法人でのバックアップも頭にいれています。</p> <p>感染が疑わしい利用者への対応については、まずは状況確認を実施して、担当ケアマ ネジャーや連携先の訪問看護ステーションや各サービス事業所との連携により相談しな がら進めていくことを想定しています。また近隣に小規模多機能事業所もある為、情報 交換をしながら、随時対応を見直していきたいと考えています。</p> <p>備品については、併設する事業所と共同で防護服などの用品備蓄をしています。また 併設施設経験者があり、感染症対応について理解した職員が対応しています。しかし、ご 意見をいただきました通り、施設と在宅では大きな違いがあるため、連携する訪問看護 ステーションの専門職の意見や助言をもらい対応検討をしていきます。</p>
堤委員 より	<p>私どもの事業所でも職員の家族にコロナ陽性者が発生。PCR 検査を実施して進めて参 りました。京都の1日の新規感染者が500人になるかという中、保健所からの連絡も 遅くなり、事業所での判断が重要になってきます。どこの事業所でも苦勞されている点 だと思います。小泉委員のご意見の通り、ゾーニング等の感染症対応についても連携し て進めていければと思います。</p> <p>3月より事業開始され、窓口の対応がよく、連携がとりやすいと感じています。また緊 急対応にも対応がしやすいと感じています。定期巡回では、既存の介護サービスでは対 応が困難な精神疾患を抱えておられるケースや対応困難ケースもサービス提供されてお られ、先ほどの事故にも挙がっていましたが、一概に言えない難しいケースもあると感 じています。常々、各事業所間の連携の重要さ感じており、当事業所であれば医療スタッ フ（往診医や訪問看護ステーション）との連携は重要であると思います。</p>
田川委員 より	<p>当該エリアでは、今まで無かったサービス種別であり、夜間のサービス提供は、地域が 必要としているサービスであると思います。地域の要介護高齢者の方の選べるサービ スの幅が広がることも繋がると思います。地域のケアマネジャーの皆さんに浸透してい ければ良いと思います。</p>
浦川委員 より	<p>感染症予防では、どこの事業所も大変苦心しながら進めておられると思います。 また、夜間等の緊急コールや対応は少ないのですか？</p> <p>事故について、よく一般的には、同じ人が何度も起こすようであれば人的要因であり、 違う人であれば、基本的な事ですが、スピードを抑えること、危険予測をして対応するこ と（飛び出しがあるかもしれないので徐行、車がバイクの存在に気付いていないかもし れないので停止など）の対策が有効であると思います。</p>

事務局 より	<p>定期巡回サービスのほとんどが、7:00 頃～21:30 頃が多いです。夜間の緊急コールについて、訪問が必要なケース数とイコールではありませんが、毎日数件あります。夜間であっても繋がる窓口があるという安心に繋がっている利用者もおられるのが現状です。</p> <p>移動中の事故について、ご意見ありがとうございます。職員へは、再度スピード抑制・危険予測をして対応していけるよう指導を進めていきたいと思ひます。</p>
酒井委員 より	<p>スマホで情報共有できるので、毎日、確認させていただいています。用品が切れそうな時には、入力してもらっているのひ、それを見て購入をして届けています。他の消耗品等もしていただければ助かります。また、掃除等も記録で分かるようにしてもらえればありがたいです。</p>
事務局 より	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>ご本人のご状況を鑑み、担当のケアマネジャーと連携を図りサービスについて検討していきます。</p>
浅田委員 より	<p>この定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所といった、新しいサービス提供がスタートしたことは、多様なサービスの形ができることは、地域で介護をされている方にとっては、大変心強いと思ひます。</p>
議事 4	サービスの評価について
	<p>サービス評価表について</p> <p>次回の会議までに事業所の自己評価を実施。その結果を次回会議にて報告。</p> <p>会議での報告等により、外部評価として各委員からコメントをいただく流れで実施予定</p>
議事 5	その他
	<p>次回会議：令和4年3月18日（金）14:00～ 七彩すまいる館にて</p>